

2024 年度関東支部活動開催報告

主 催：公益社団法人日本語教育学会

開 催 日：2024 年 8 月 25 日 13:00～15:00

会 場：オンライン開催

参加人数：47 名

テーマ：地域でつながる子どもの日本語学習支援

関東支部では 8 月 25 日（日）にオンライン（Zoom）で支部活動を行いました。支部活動は第 1 部と第 2 部で構成し、第 1 部は講演、第 2 部は参加者同士の意見交換の場を設けました。

第 1 部では、講師に筑波大学の澤田浩子氏をお迎えし、「地域でつながる子どもの日本語学習支援—茨城県グローバル・サポート事業のこれまでとこれから—」というタイトルでご講演いただきました。澤田氏が茨城県教育庁と筑波大学との共同プロジェクトの立ち上げに関わり、外国にルーツを持つ中高生との日本語学習・キャリア支援活動の場を作ったお話や、活動を続ける中で、外国にルーツを持つ子どもたちを中心に、将来の地域社会を担う大学生や、学校現場の先生方とがともに活動し、学びが循環する仕組みづくりを目指してきたというお話がありました。また、今年 5 年目を迎えるプロジェクトについても、活動の経緯や課題、これからの展開に向けてお話をいただきました。

第 2 部では、約 20 分間の意見交換の場を設けました。4 つのテーマ、「小中高の学校教育における日本語指導」、「地域の日本語教室」、「大学の授業やプログラムの実践」、「子どもを持つ外国人世帯への支援」を設定し、参加者が関心のあるテーマを選んで、それぞれブレイアウトグループに入っていました。澤田氏の講演のあとだったこともあり、それぞれのルームで参加者同士の活発な意見交換が繰り広げられました。

また、今回は Padlet を使うことも試みました。それぞれのルームから出た意見を見ることができたり、講師から質問の回答を得られたりと有効活用することができました。

事後アンケートには「澤田先生のご発表が大変参考になりました。」、「大学生が地域の子どもたちの学習支援をすることを実習として行うのは、たいへんに良い取り組みだと思います。問題は担当の教員の方が異動されたり、退職された場合、どうするのか、です。大学として、引き受ける形ができると安心でしょう。」という貴重なコメントが寄せられました。皆様から寄せられたご意見を受けて、今後の運営方法を見直すと同時に、より実りの多い企画を考案していければと思います。

支部活動にご参加くださった皆様、ご協力くださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

（報告者 支部活動委員：井上里鶴，國澤里美，神山英子，草木美智子）